

【課題番号】 1-2104

【研究課題名】 ローカル SDGs 推進による地域課題の解決に関する研究

【研究期間】 令和3年度（2021年度）～令和5年度（2023年度）

【研究代表者（所属機関）】 川久保俊（法政大学）

## 研究の全体概要

### 研究目標

全国の自治体における「ローカル SDGs」の策定および実践の支援を通じて地域課題の解決へ導く。  
具体的には以下の三点に取り組む。

- ① SDGs の視点に基づく各自治体の特徴（長所、課題等）の把握
- ② 地域課題を解決するための「SDGs オープンイノベーションプラットフォーム」の開発
- ③ ローカル SDGs の推進および地域循環共生圏の形成に向けたビジョン・計画の策定支援

### 研究方法

本研究では、自治体関係者の知恵や経験等に基づいて地域課題の解決にアプローチする「知識駆動型モデリング」と AI などを活用したビッグデータ解析に基づいて地域課題の解決にアプローチする「データ駆動型モデリング」の双方の長所を活かしたハイブリッドアプローチを採用する。

全国の自治体におけるローカル SDGs に関する情報収集を実施し、データベースに一元集約し、そのビッグデータを分析した上で「SDGs オープンイノベーションプラットフォーム」上にて広く情報公開する。プラットフォーム上で地域のニーズ、シーズを顕在化し、相互にマッチングさせることによって地域課題解決を促す。以て、ローカル SDGs の推進と地域循環共生圏づくりの推進を支援する。

**ローカルSDGs 推進による地域課題の解決に関する研究 (研究代表機関: 法政大学)**

本研究では、①SDGsの視点に基づく各自治体の特徴(長所、課題等)を把握する。また、②地域課題を解決するための「SDGsオープンイノベーションプラットフォーム」の開発を行う。さらに、③ローカルSDGsの推進および地域循環共生圏の形成に向けたビジョン・計画の策定支援を行う。

